

玄海原子力発電所 1 号機の高経年化技術評価及び長期保守管理方針の概要

1 . 経 緯

玄海原子力発電所 1 号機は、平成 2 7 年 1 0 月に運転開始後 4 0 年を迎えるにあたり、今回、高経年化技術評価を実施し、長期保守管理方針を策定した。

・ 評価項目

〔 腐食、疲労割れ、応力腐食割れ、摩耗、変形、
電気・計装品の絶縁低下、コンクリートの強度低下 他 〕

2 . 高経年化技術評価の実施

現在のプラント状態を踏まえ、冷温停止状態の維持に必要な機器・構造物について、考慮すべき経年劣化事象を抽出し、冷温停止状態の維持において、経年劣化事象が発生する可能性や経年劣化事象に対する現在の保全内容の妥当性を総合的に評価した。

3 . 長期保守管理方針の策定

高経年化技術評価の結果、現状の保全活動に追加すべき項目はなく、冷温停止状態において、現状の保全活動を継続していくことにより、機器・構造物の健全性が維持されることを確認した。

【冷温停止状態が維持されることを前提に評価】

「実用発電用原子炉施設における高経年化対策実施ガイド」に、運転開始後 40 年を経過する日において、運転再開の前提条件である新規制基準に適合しないものがある場合は、冷温停止状態が維持されることを前提とした評価のみを行うこととされている。